

山 口 新 聞

平成 25 年 12 月 6 日 (金)

NO.83

農地・水環境

守ろう地域の手に



83

均50坪と少ない。水清くして昼夜の温度差が大きく、水田は砂地が多くて、稲作に適し、「伊陸米」として知られる。

2007年5月に当会を設立。前年に誕生した農事

旬の地場野菜などを直売所で販売し、「地産・地消」「安心・安全」を合言葉に農業・農村の大切さを地域内外からの来訪者に語りかけている。

当地区は柳井市北部に位置し、北の玄関とも言われ、兼業農家で、耕作面積も平均

2007年5月に当会を設立。前年に誕生した農事

春はキャベツ祭り、夏は

伊陸西部農・水・環境全向上委員会(柳井市)

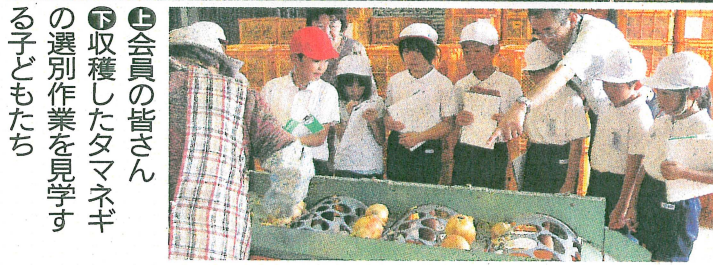
法人と地元で里づくり

組合法人「ウエスト・いかに」が核となって、地域の農業者と協力しながら共同活動や農村環境保全活動を鋭意進めている。

は場整備を経て、大型機械化により、作業効率も格段に良くなった。半面、急傾斜にある農地の雑草対策には頭を痛めているが、ふる里の農地や景観を守りたい一念で草刈り作業などに汗を流している。

少しでもふる里が元気になるよう農業生産活動、交流活動を中心に会員一同、これからも取り組んでいきたい。(代表、末河三紀夫)

— 金曜日掲載 —



①会員の皆さん
②収穫したタマネギの選別作業を見学する子どもたち

「ウエスト・いかに」では、6次産業化に取り組む女性メンバーで作った四つ葉工房を運営。創意工夫した惣菜、弁当、スイーツ、

【メモ】代表 末河三紀夫
▽会員 48人、農家(18戸)、農事組合法人「ウエスト・いかに」
▽設立 2007年5月14日
▽連絡先 柳井市伊陸35332、末河さん ☎0820・26・0812